



聖書を読む会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル内  
Tel/fax: 03-5577-4687 E-mail: sykoffice21@gmail.com  
Web: http://syknet.jimdo.com 郵便振替: 00180-9-81537

No. 121

2020年7月1日発行



## 「この世の実相は罪と苦しみである」

—地域に生きる信仰 柏木義円 2—

飯能キリスト聖園教会牧師 聖書神学舎教師  
若井 和生

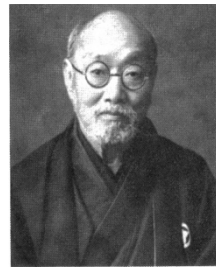
現在、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、多くの尊い命が失われています。何と大きな悲しみが、今、この地を覆っていることでしょうか。東日本大震災の時に、心に迫ってきた預言者ハバククのことばが再び、胸に迫ってきます。

いつまでですか、主よ。私が叫び求めているのに、あなたが聞いてくださらないのは。「暴虐だ」とあなたに叫んでいるのに、救ってくださらないのは。  
ハバクク書1章2節

「神はなぜ、このような悲惨をゆるしておられるのか」。今、私たちの心の奥深くに、このような疑問が生じているのではないのでしょうか。この問いかけに歴史上の人物たちは、どのように向き合ったのでしょうか。

群馬・安中教会の牧師だった柏木義円は、1920年4月発行の「上毛教界月報・第257号」の記事の中で、「人生の経緯(けいゐ)は罪と苦しみとである。この世の実相(じっそう)は罪と苦しみである。」と記し、人生の真実の姿は罪と苦しみにある、と主張しました。

この記事は、柏木の次男・策平が天に召された直後に記された文章です。千葉の専門学校で勉学に勤んでいた策平が病魔に侵(おか)され、息を引き取ったのは1920年3月20日。26歳の若さでした。しかも、わずかその一年半前に



片野真佐子著『孤憤のひと  
柏木義円』

新教出版社(1993年)より

柏木は、妻・茅子をやはり病気のために失っていたのです。柏木夫妻には 9 人の子どもたちが与えられましたが(その内の一人は夭折(ようせつ))、妻亡き後、下の弟・妹たちの面倒をよく見てくれたのは策平でした。その策平の死は、義円にとってはことさらに大きな心の痛みでした。

策平追悼号とも呼べる内容になった上毛教界月報・第 257 号にて、柏木は息子・策平の思い出を事細かく丁寧に綴(つづ)っています。策平が書き留めた日記の文章まで紹介しながら、彼の人柄を紹介し、彼の人生がどれだけ尊かったのかを証明しようとしています。

その上で柏木はイエス・キリストの十字架を仰ぎました。イエスの十字架上の苦しみが策平のためのものだったことに気づき、このように記しました。

「去るにても彼に何の資格何の績いさおありてか此の過分の恩寵おんちように與あたふることが出来ませうか。主の十字架の御贖おんあがなひの広大無限なる御績おんいさおあればこそ染み染み十字架の御贖おんあがなひの有り難くして貴きを感じました。」(月報 257 号・「策平の病と死に際しての所感」)

人間の罪と罪がもたらす死の悲惨の中にあつて、イエス・キリストの十字架を仰ぎ、慰めと感謝に導かれる柏木の姿が、ここに明記されています。柏木のイエス・キリストに対する愛と信頼は、ますます深められていきました。

柏木は若い頃に同志社に学び新島襄の薫陶(くんとう)を受けましたが、神学を正式に修めたわけではありませんでした。ただし、彼が遣わされた牧会の地・安中が彼の神学の間でした。一度目を上げると、近代日本が掲(かか)げた「富国強兵」の政策の下で踏みこじられたり翻弄(ほんろう)されたりする人々の姿は、彼の目の前に拡がる現実でした。家庭の中で苦悶(くもん)し自らの弱さと愚かさを思い知らされた柏木は、これらの地域の人々の苦しみに共感します。そして、そのような人々と共に、地域の中で生きていく決断を深めていきました。十字架と復活のイエス・キリストがいつも、彼の支えでした。

柏木義円を中心とする教会の人々は、人間の罪と苦しみの現実にも直面しても、そこで神から離れるのではなく、ますます神に近づいていったようです。そこで与えられる天来の平安と希望によって強められました。

コロナウィルスに苦しむ世界中の人々に、この平安と希望が届けられますように。そのために各地の教会が用いられますように、共に祈りたいと思います。



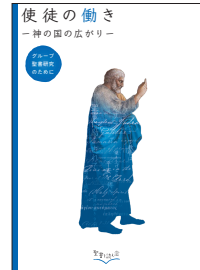
# SYK便り

## ポストコロナとSYK

新型コロナウイルスのパンデミックによって、日本の社会は大きく変わりとつたつあります。教会の諸集会はもちろん、聖書を読む会のグループも影響を受けていることでしょう。しかし、この危機を通り、「新しい生活様式」を取り入れるという変化に対応していくなかで、新しい気づきや可能性に目が開かれていくこともあるようです。

### 自宅で主体的にみ言葉に向き合える手引

先日埼玉県牧師先生がSYKに電話をくださいました。SYKの手引のことを知り、会堂での礼拝の代わりに日曜は教会員がそれぞれ自宅で同じ手引の箇所を使って学びを始めたそうです。すると、信徒の方々が主体的にみ言葉に向き合い、信仰生活が生き生きしてきた、と伝えてくださいました。「今後教会は、疫病だけでなく自然災害や迫害を通るだろう。しかし、この手引を使えば信徒自らがみ言葉によって養われて生きていくことができる。今後は手引を教会形成の中心に置きたい」ということでした。主事会としては大きな励ましを受けるとともに、手引の数が少ないとのチャレンジをいただきました。



### オンラインでのグループの学び

オーストラリアやヨーロッパでは、日本人が遠く離れている場合が多いため、以前からグループの学びがオンラインで持たれてきました。もちろん、日本国内でも、ネットに接続したPCやスマホがあれば、グループでの学びを再開することができます。SYK オフィスにメールをくだされば、できる限りお手伝いいたします。



### 通信と維持会レターのデジタル配信

コロナのために困ったのは、維持会レターと通信の発送です。通常3月に発送する維持会レターは発行できませんでした。この場を借りてお詫び申し上げます。この通信121号も発行が遅れました。通信を発送しても、コロナの第二波の時には、教会堂の週報ボックスで止まってしまうとも忠告を受けました。そこで、迅速、かつ確実に維持会レターや通信をお送りするために、Eメールアドレスをお持ちの方には、Eメールにて送らせていただきたいと思います。

**お願い：**この通信を読み、紙媒体でなくてもよいと思われる方は、Eメールにてお名前、「通信のデジタル版を希望」とお知らせください（アドレスは下記）。維持会員の方は、「維持会員です。維持会レターのデジタル版も希望」とお書きください。デジタル配信は、SYKの経費節約にもなります（維持会員については <https://syknet.jimdo.com/ご支援ください/> をご覧ください）。

## その他の変化



\*今年度から聖書を読む会のセミナーを **youtube** でも公開します。献金もオンラインでできるよう現在準備を進めています。



\* **Facebook** では、重版の状況や新刊出版準備等の最新情報をアップしています（URL は下記）。アカウントがなくてもどなたでも閲覧できますので、是非ご覧ください。「Facebook に登録して」というボックスは、X をクリックして消すことができます。

## おわりに

本来は、顔を合わせて語り合い、共に賛美し祈り、助け合うのが教会やグループの姿ですし、紙媒体も大切です。ただ、それが十分になかないときに、どうしたらよいのか、SYK はどうするのか、模索が続くと思います。引き続き、神の国の拡大のために共に祈りご協力いただければ幸いです。

## お知らせ

**新刊案内：**今年2月に「救いの基礎・改訂版」と「神のご計画」を同時発行しました。大変よい評価をいただいています。

「装丁が美しく、手に取るだけでうれしくなりますね。私もやっと洗礼準備会や入信者の勉強会に相応しいテキストに巡り合った気がします。」（40代、牧師、神学校教師）

**今後の出版予定：**年度内に「ルカの福音書」、来年度には「創世記」を出版する予定です。

## 聖書を読む会 SYK

Eメール：[sykoffice21@gmail.com](mailto:sykoffice21@gmail.com) ウェブページ：<https://syknet.jimdo.com>

Facebook：<https://www.facebook.com/FB.SYK>



「近年一般信徒の方々が聖書の全体像をつかむためのシンプルなツールの必要性を痛感していますが、これらの小冊子はまさにうってつけだと思います。教会での学び会などに最適ですね。」（50代、神学校教師）



## 2019 年度決算報告 (2019 年 4 月～2020 年 3 月)

### 収支計算表

[収入の部]			
科 目	予算額	決算額	達成率
献金収入	3,740,000	3,492,617	93%
負担金収入*	1,600,000	1,600,068	100%
その他収入	6,100	8,149	134%
当期収入合計	5,346,100	5,100,834	95%
[支出の部]			
科 目	予算額	決算額	達成率
伝道・活動費	1,771,000	1,636,833	92%
維持・管理費	1,458,600	1,380,410	95%
人件費	2,344,792	2,127,327	91%
当期支出合計	5,574,392	5,144,570	92%
当期収支差額	-228,292	-43,736	

### 貸借対照表

[資産の部]		
科 目	前年度末残高	3月末残高
現金預金合計	1,392,900	1,295,074
その他流動資産合計	893,033	1,242,540
流動資産合計	2,285,933	2,537,614
固定資産合計	422,000	422,000
資産の部合計	2,707,933	2,959,614
[負債の部]		
流動負債合計	0	0
正味財産合計	2,707,933	2,959,614
負債・正味財産合計	2,707,933	2,959,614

私たちは、昨年秋に就任した総主事のもと、新しい手引の制作に力を入れています。そのような SYK に期待してくださる皆様の思いが、献金を通して伝わってきて励まされ、感謝しています。それだけに、年度始めにお送りしてきた献金者へのお礼状を、今年はコロナの影響で差し上げられなかったことは残念でした。そこで、この紙面にて皆様に心からの感謝を申し上げたいと思います。厳しい状況が続きますが、聖書が語る希望を広げる働きを継続していきます。2020 年度もお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。

### 献金を感謝いたします 2019 年 4 月～2020 年 3 月 (順不同 敬称略)

【教会・団体 43】 油津キリスト教会、生田丘の上キリスト教会、上田福音自由教会、宇都宮聖書バプテスト教会、永福南キリスト教会、青梅キリスト教会、小川キリスト教会、かもい聖書教会、岸和北聖書教会、行田カペナント教会、久遠キリスト教会、越谷福音自由教会、在欧日本人宣教会、堺大浜キリスト教会 マルコイノニア、札幌希望の丘教会、札幌聖書キリスト教会、Japanese Christian Fellowship Network、石神井福音教会、じゅうじ会、白金キリスト教会、新松戸福音自由教会、新松戸福音自由教会 SYK グループ I, II、菅生キリスト教会、世田谷中央教会、高石聖書教会、高松シオン教会、玉川神の教会、たまプラーザキリスト教会、都賀キリスト教会、桜ヶ丘キリスト教会、十日市場めぐみキリスト教会、中山キリスト教会、中山キリスト教会 白根聖研、中山キリスト教会 木曜聖研、日本ナース・クリスチャン・フェローシップ、秦野詩音キリスト教会、馬天キリスト教会、浜田山キリスト教会、東村山キリスト教会、前橋キリスト教会、松見ヶ丘キリスト教会、南大沢チャペル、南大沢ベレヤ会、武蔵野泉教会

【個人 114】 青木京子、秋場佳子、岡岡満喜子、浅原法子、新井愛子、有野田鶴子、安藤真里、安藤理恵子、池田美栄子、池田幸美、池田百合子、石野千恵子、稲垣浜子、井上典子、今井幸代、岩井昭子、岩金滋代、岩崎喜久子、岩下幸子、岩瀧芳昭、宇川明子、梅本和子、大黒洋三、小川紀一郎、奥村節代、尾田正毅・陸江、尾上直子、尾上選哉、尾松京子、甲斐博・真理子、加々美美、勝又勝郎、門谷皖一・邦子、金成美貴、神谷智子、木曾道子、キナシノブヒサ、久保田たつ子、久米公正・こずえ、栗原喜義・啓子、栗本ミチコ、小池清・三枝子、小池巴実香、鯉川信也・早弓、小嶋淑子、兒玉照恵、小森久美代、今野蓉子、坂口昌信・英子、桜井純子、里見えみ子、四宮義文・牧子、柴川正義、芝田寛二・正子、島清哉、島田法子、島田祐也、嶋田留美、杉山礼子、鈴木喜香、鈴木洋子、関谷典子、曾山盛夫、大門節子、高橋礼子、竹内博子、多胡伸子、多田一江、立田ひとみ、田中啓子、田中初子、田部明子、田村真、寺島和子、時田敏彦、永井緑、中野正治、西野玲子、蜷川いづみ、野地和子、林加奈子、林照子、平間真由美、福島優一・リツ、福田崇・愛子、藤森之和・奈都子、古屋悠紀子、榎田ゆり子、松村隆・美知子、水口功・いづみ、宮下識、宗像敏子、村田紋子、矢島志朗・智子、矢部由紀子、山崎和子、山田千鶴子、山本多恵子、吉川佐知子、米田由起子、渡邊智夫・京子、匿名 13 件

◆ 「聖書を読む会 SYK」の働きは、皆さまのお祈りと献金によって支えられています ◆